

令和 5 年度大阪府がん対策推進委員会 肝炎肝がん対策部会（概要）

1. 日時 令和 5 年 7 月 2 1 日（金）午後 6 時 3 0 分～7 時 3 0 分
2. 場所 大阪国際がんセンター 1 階 小会議室 3
3. 議事
（1）第 3 期大阪府がん対策推進計画の最終評価について
（2）第 4 期大阪府がん対策推進計画について
（3）その他

4. 委員からの意見要旨と審議結果

（1）第 3 期大阪府がん対策推進計画の最終評価について【資料 1】

【意見要旨】

○肝炎ウイルス検査累積受診者数について、令和 3 年度末で約 88 万人であり、年約 6 万人受診していることから、令和 5 年度末で約 100 万人となる見込み。目標値約 109 万人に足りないが、ベースライン約 55 万人に比べて改善していることから B 評価は適当である。

○肝炎ウイルス検査精密検査受診率について、令和 3 年度末で 54.3%であり、ベースラインに比べて 9.9%改善しているが目標値 80%からは大きく離れている。B 評価でよいのか。

【審議結果】

第 3 期大阪府がん対策推進計画の最終評価報告書（案）を承認。

（2）第 4 期大阪府がん対策推進計画について【資料 2】

【意見要旨】

○第 3 章（現状と課題）及び第 5 章（取組と目標）について、「予防、受検、受診、受療」の流れで整理された分かりやすい表現である。

○肝炎ウイルス検査累積受検者数の目標値はどのように設定したか。

⇒第 3 期目標値約 109 万人を据え置きすると計画途中で目標達成することが予測されることから、第 3 期最終年度の到達見込数 100 万人に、平均受検者数約 6 万人に 6 か年を乗じた 36 万人を加えた約 140 万人を、第 4 期計画の目標値とした。

○肝炎ウイルス検査精密検査受診率の目標値はどのように設定したか。

⇒令和 3 年度末で 54.3%とまだまだ目標に届いていないことから、第 3 期目標値 80%を据え置きとした。

○肝炎ウイルス検査精密検査受診率の推移について、年度によって受診率にバラつきがある理由はなにか。

⇒精密検査受診率は単年度集計であり、母数（肝炎ウイルス検査陽性者）が少ないため、受診率が変動しやすいと考える。毎年度、受診率 80%を維持できるよう努める。

○目標値 140 万人が受検したとして、府民の何%が受検したことになるか。

⇒府民 880 万人とした場合、受検者 88 万人で 10.0%、受検者 140 万人で 15.9%の府民が受検したことになる。

○年代によって陽性率が異なることから、特に陽性率の高い 60 歳代～70 歳代への受検勧奨を重点的に取り組んでほしい。また、消化器内科以外の診療科で判明した肝炎ウイルス検査陽性者へのフォローアップに取り組んでほしい。

【審議結果】

第 4 期大阪府がん対策推進計画（案）を承認。

(3) その他

大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について【資料 3】

【審議結果】

新たに肝炎専門医療機関の申請があった 1 施設を承認。